

安全データシート

整理番号 sagamihiryou-3
作成日 2020年2月27日

1. 製品及び会社情報

製品名 : 組合飼料作物NP配合肥料520
会社名 : 全国農業協同組合連合会
担当部署 : 耕種資材部
住所 : 〒100-6832 東京都千代田区大手町1-3-1 JAビル33F
電話番号 : 03-6271-8285
FAX番号 : 03-5218-2536
電子メールアドレス : zz_hiyaku-gizyutsu@zennoh.or.jp
緊急連絡先 : 03-6271-8285

推奨用途及び使用上の制限 肥料用及び肥料原料用。肥料用途以外には使用しないで下さい。

2. 危険有害性の要約

GHS分類

健康に対する有害性 : 急性毒性(経口) 区分4
眼に対する重篤な損傷性又は刺激性 区分2B
特定標的臓器毒性(単回暴露) 区分2(神経系)
水生環境有害性(急性) 区分3
水生環境有害性(長期間) 区分3
上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語 : 危険
危険有害性情報 : 飲み込むと有害
眼刺激
臓器(神経系)の障害のおそれ
水生生物に有害
長期的継続的影響によって水生生物に有害

注意書き

- 【安全対策】 : この製品を使用するときは、飲食または喫煙をしないこと。
保護眼鏡/保護面を着用すること。
取扱い後はよく手を洗うこと。
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
環境への放出を避けること。
- 【応急措置】 : 飲み込んだ場合、気分が悪い時は、医師の診断/手当を受けること。
口をすすぐこと。
暴露、または気分が悪い時は、医師の診断/手当を受けること。
眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合は、医師の診断/手当を受けること。
取扱い後はよく手を洗うこと。
- 【保管】 : 施錠して保管すること。
【廃棄】 : 内容物/容器を関連する規則に従って廃棄すること。

GHS分類に該当しない他の危険有害性 : 経口毒性は低い、血液への注入はかなり強い毒性を示す。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物
成分及び含有量 : 塩化アンモニウム 10.0%
*上記の成分及び含有量(%)は、日本国内の肥料取締法に基づいた表記である。

危険有害成分

化学名又は一般名	含有量(%)	化学式	官報公示整理番号	CAS No.
塩化アンモニウム	10.0	NH ₄ C1	(1)-218	12125-02-9

安衛法 公表化学物質

4. 応急措置

- 吸入した場合 : 一般に粉塵として吸入され、粘液に溶けて弱い酸性を示し粘膜を刺激するので、口腔内、鼻腔内を水で洗浄する。
- 皮膚に付着した場合 : 汗に溶けて皮膚を刺激するので、水で丁寧に洗浄する。
- 目に入った場合 : 弱い酸性であるので、多量の清水で丁寧に15分以上洗眼する。
また、必要に応じ医師の手当を受ける。
- 飲み込んだ場合 : 多量に飲用すると、吐き気、嘔吐、アシドーシスをおこすので、直ちに水を飲んで薄め吐き出させるとともに医師の手当を受ける。
- 急性症状及び遅発性症状のもっとも重要な徴候症状 : データなし
- 応急処置をする者の保護 : 「8 ばく露防止及び保護措置」の項に記載の適切な保護具を着用する。
-

5. 火災時の措置

- 消火剤 : 不燃性であるので、消火剤は周辺火災に適合したものを使用する。
- 使ってはならない消火剤 : 特になし。
- 特有の消火方法 : 周辺火災の場合、移動可能な容器は速やかに安全な場所に移す。
- 火災時の措置に関するくゆうの危険有害性 : 該当なし
- 消火を行なう者の保護 : 「8 ばく露防止及び保護措置」の項に記載の適切な保護具を着用する。
-

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、
保護具および緊急時措置 : 粉塵を吸入しないようにする。
漏洩した個所の修理その他の作業に当たるものは、保護眼鏡、保護袋、保護長靴、保護衣、
安全帽等の必要な保護具を着用する。
- 環境に対する注意事項 : 洗浄液は窒素を含有しているので下水、河川に直接流さず、廃棄上の注意事項を守ること。
封じ込め及び浄化の方法及び機材: 飛散物は箒などで掃き集め容器またはポリ袋に回収する。
回収終了後、水で洗い流す。
-

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い:

- 技術的対策(局所排気・全体換気等): 換気の良い場所で取り扱う。
- 安全取扱い注意事項 : 体に触れて薬傷を起こさないよう作業員は必ず必要な保護具を着用し、かつ作業場付近に十分な水を用意する。
- 接触回避 : アルカリ、青酸との接触を避ける。
- 衛生対策 : 休憩場所には手袋等の汚染された保護具を持ち込んで
はならない。

保管

- 安全な保管条件 : ・吸湿性が大きいので、高温多湿を避け地面に直接置かない。
- 安全な容器包装材料 : 銅及び銅を含む合金(真ちゅう等)以外のもの
-

8. ばく露防止及び保護措置

- 管理濃度 : 設定なし。
- 設備対策 : 作業場に手洗い場を設ける。
- 許容濃度 : 設定されていない。
日本産業衛生学会(2014年版)² : 該当なし
ACGIH(2014年版)³ : TWA(8h) 10mg/m³(ヒューム)
- 保護具
- 呼吸用保護具 : 防塵マスク
- 手の保護具 : ゴム手袋
- 目の保護具 : 安全眼鏡
- 皮膚及び身体の保護具 : 粉が浸透しない素材のものを着用する。

9. 物理的及び化学的性質

外観(色/形状)	: 白色 粒状品
臭い	: なし
臭いのしきい(閾)値	: 該当なし
pH	: 5.0~6.0
融点・凝固点	: データなし
沸点、初留点及び沸騰範囲	: 大気圧下では沸点は無し。(昇華圧 0.101MPa 昇華点 337.8℃)
引火点	: 不燃性
蒸発速度	: データなし
燃焼性(固体、気体)	: 該当なし
爆発範囲	: 不燃性
蒸気圧	: 3.48MPa (520℃)
蒸気密度	: データなし
比重	: 1.53
溶解度	: 水;37.4g/100gH ₂ O(20℃) その他;アルコールに可溶、アセトンに不溶
n-オクタノール/水分配係数	: 該当なし
自然発火温度	: 該当なし
分解温度	: 該当なし
粘度(粘性率)	: データなし
その他のデータ	: データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	: 通常では安定な物質であるが、混合すると危険な物質が数種ある。
化学的安定性	: 該当なし
危険有害反応可能性	: アルカリ添加によりアンモニアガスを発生する。硝酸アンモニウム,三弗化臭素,七弗化沃素,塩素酸カリウムと激しく反応し、大気中で加熱すると分解し、酸化窒素,塩酸ガス,アンモニアガス等有害ガスを発生する。また、青酸と反応して爆発性の三塩化窒素を生成する。3)
避けるべき条件	: 銅及び銅を含む合金(真ちゅう等)との接触
混触危険物質	: アルカリ、青酸
危険有害な分解生成物	: 強熱すると分解して有害ガスを発生する。

11. 有害性情報

急性毒性	: •LD50(ラット 経口) 1,650mg/kg ⁶⁾⁷⁾ •LD50(ラット 筋肉注射) 30mg/kg ⁶⁾⁷⁾ •LD50(マウス 腹腔) 1,439mg/kg ⁶⁾⁷⁾
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	: 皮膚をわずかに刺激する。
眼に対する重篤な損傷性又は眼	: うさぎ 500mg/24h 強い刺激 ⁶⁾⁷⁾
呼吸器感作性又は皮膚感作性	: データなし
生殖細胞変異原性(変異原性)	: データなし
発がん性	: デ本製品は、強酸性(pH2以下)であるため、皮膚、粘膜を腐食又は刺激することから
生殖毒性	: データなし
特定標的臓器毒性, 単回ばく露	: 経口投与により、ラットでは1,000mg/kg bw以上で呼吸困難、無関心、姿勢異常、よろめきの症状、マウスでは1,200mg/kg bw以上で下痢、チアノーゼ、失調性歩行が観察されている。1)
特定標的臓器毒性, 反復ばく露	: 長期間(6ヶ月)摂取による(代謝性)アシドーシス発症の症例など、アシドーシスに関する複数の報告あり。1)
吸引性呼吸器有害性	: データなし
その他 局所効果	: 塩化アンモニウムは酸形成塩で、大量を摂取すると胃を刺激して吐き気、嘔吐を起こし、また、代謝性アシドーシス(血液を酸性化する酸中毒)を招き、糖尿病よう昏睡を起こすことがある。
代謝	: 体内でアンモニウムイオンと塩素イオンに解離するため血漿中に塩素イオンが増加し、炭酸イオンと置換され、炭酸イオンは水素イオンと共に二酸化炭素と水を生じ、二酸化炭素は肺から排出される。 この結果炭酸イオンが減少して、代謝性アシドーシスを招く。一方解離によって生成されたアンモニウムイオンは肝臓で急速に尿素となり、このため尿中の尿素は増加するが、アンモニアとしての作用は現れない。また塩素イオンはナトリウムイオンを強く移動させ、それに伴い細胞、組織間の水分が血中に吸引されるので尿を増加し、ナトリウムイオンを失う。5)

12. 環境影響情報	
生態毒性	: データなし
残留性・分解性	: データなし
生体蓄積性	: データなし
土壌中の移行性	: データなし
水生環境有害性(急性)	: 魚類(ブルーギル)の96時間LC50=74.2mg/L(ECETOC TR91、2003)から、区分3とした。 ⁸⁾
水生環境有害性(長期間)	: 急性毒性が区分3、水中での挙動および生物蓄積性が不明であるため、区分3とした。 ⁸⁾
オゾン層への有害性	: 該当なし
他の有害影響	: アンモニウムイオンは植物の栄養源の一つであり、富栄養化の原因となるので閉鎖系水域の湖沼に流入する排水については、水質汚濁防止法で排水基準が制定されている。
13. 廃棄上の注意	
廃棄方法	: 廃棄物の処理及び清掃に関する法律等の関係法令を遵守し、適切な処理業者に委託する。
容器	: 汚染容器・包装は製品をよくはらい落した後、一般の法規に従い廃棄する。
14. 輸送上の注意	
国際規制	: 該当しない
国内規制	
陸上規制情報	: 該当しない
海上規制情報	: 該当しない
航空規制情報	: 該当しない
輸送の特定の安全対策及び条件	: 吸湿性があるため、水濡れに注意する。 その他「取扱い及び保管上の注意」及び「漏出時の措置」の項参照
応急措置指針番号	: 該当しない
15. 適用法令	
配合成分の適用法令	
化学物質排出把握管理促進法	: 適用なし
毒物及び劇物取締法	: 適用なし
労働安全衛生法	法第57条、施行令第18条 別表第9 名称等を表示すべき危険物及び有害物 法第57条の2、施行令第18条の2 別表第9 名称等を通知すべき危険物及び有害物 法第57条の3 危険有害性を調査すべき危険物及び有害物
水質汚濁防止法	: 有害物質(法第2条、施行令第2条、排水基準を定める省令第1条)
海洋汚染防止法	: 有害液体物質(Z類同等の物質)(環境省告示第148号第3号)
16. その他の情報	
参考文献等	<ol style="list-style-type: none"> 1) 化学物質総合情報提供システム(CHRIP) GHS分類結果(分類実施日:2010.2.19) 2) 日本産業衛生学会「産業医学」(2014) 3) ACGIH化学物質と物理因子のTLV, 化学物質のBEI(2014) 4) セントラル化成(株)測定値 5) 「第7版食品添加物公定書解説書」1999 6) RTECS(Registry of Toxic Effects of Chemical Substances) 7) Sax's Dangerous Properties of Industrial Materials, 8th Edition,1992 8) 製品評価技術基盤機構(NITE)GHS再分類結果(再分類実施日:平成21年)

(免責事項)

- ・この安全データシート(SDS)は、発行時の弊社が知りうる最新情報に基づいて作成しておりますが、必ずしも十分な情報ではない可能性があります。
- ・この安全データシート(SDS)は、製品に対する通常の手続きを対象としたものであり、他の化学品と組み合わせる使用方法等、特殊な取り扱いの場合には、その使用条件に適した安全対策を実施のうえ、製品の取り扱いをお願いします。
- ・この安全データシート(SDS)は、情報提供を目的としており、いかなる保証をするものでもなく、当該情報の使用により生じた損害について、一切責任を負いません。

本SDSは、下記相模肥糧株式会社の情報を元に作成しました。該当物質については、下記にお問い合わせください。

会社名 : 相模肥糧株式会社
 住所 : 〒256-0813 神奈川県小田原市前川405
 電話番号 : 0465-43-0131
 FAX番号 : 0465-43-1999
 緊急連絡先 : 0465-43-0131